

資料1

本会議での報告事項について

下水道技術開発会議における検討課題の全体像

◆ 下水道技術開発会議における検討課題として、当面の方針に加えて今後検討することが望まれる課題も含めて課題の全体像を整理

1. 技術ニーズの把握と発信

- ・事業主体の技術的課題の調査
- ・各種会議(本省、地方)における技術的課題、技術情報の活用 等

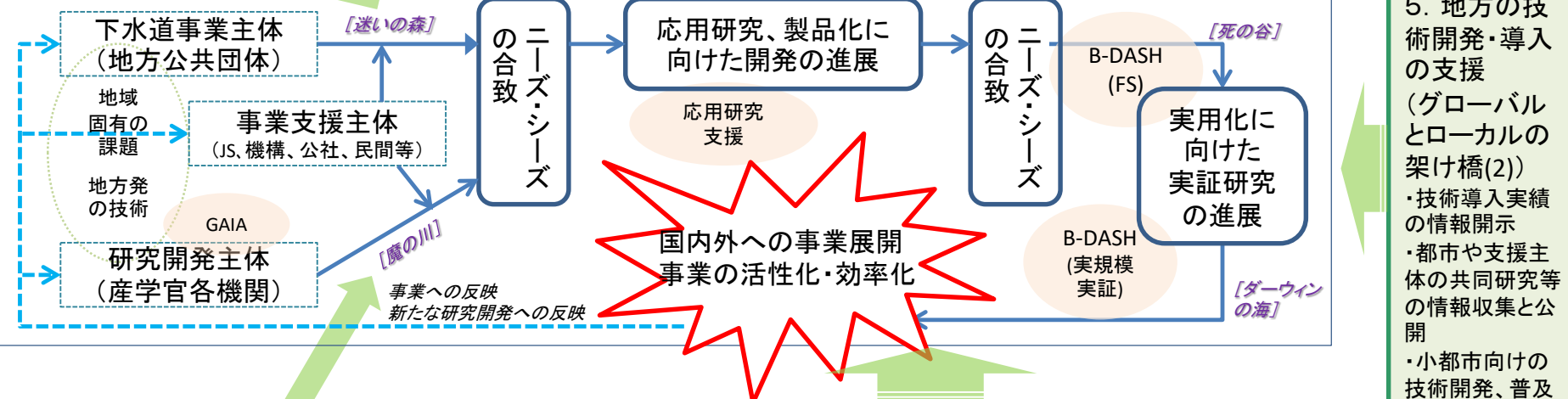
3. ニーズとシーズの架け橋

- ・技術相談窓口の提示(各機関のQ&Aコーナーの活用等)
- ・意見交換の場(SNS等)の設置
- ・重要な技術開発テーマ・要求性能の提示 等

4. 国などの技術情報の共有

- (グローバルとローカルの架け橋(1))
- ・B-DASHや各種技術の情報源情報の集約・発信
 - ・共通的な技術課題の継続的評価と成果の発信 等

下水道事業における技術開発・導入の流れ



2. 技術シーズの把握と発信

- ・技術提案募集とロードマップへの反映
- ・国内技術情報(学会等)の検索システム
- ・海外情報(情報源)の提示 等

6. 技術開発全体の戦略・方針の提示

- ・技術ビジョン・ロードマップのフォローアップ
- ・ロードマップ重点課題など、重点化して実施すべき技術開発テーマの提示
- ・技術開発・普及の各支援制度の評価
- ・各支援制度や関連施策に関する提言 等

5. 地方の技術開発・導入の支援

- (グローバルとローカルの架け橋(2))
- ・技術導入実績の情報開示
 - ・都市や支援主体の共同研究等の情報収集と公開
 - ・小都市向けの技術開発、普及支援の方策の検討
 - ・先進的事例、技術開発の手順の提示 等

本会議での報告事項について #1

活動の柱①「技術ニーズの把握と発信」

- ✓ 事業主体の技術ニーズ・技術的課題に関する調査結果 ⇒ 資料3

活動の柱③「ニーズとシーズの架け橋」

- ✓ 技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方の検討として、課題チェックシートの作成 ⇒ 資料4

活動の柱④「国などの技術情報の共有」

- ✓ B-DASH技術情報資料(更新中)
- ✓ アクセスを容易にするために、令和2年版を元にWebページを作成し公開
<http://www.nilim.go.jp/lab/eag/bdash/bdash.html>

活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」

- ロードマップ重点課題の公表結果 ⇒ 参考資料4


国土交通本省からの情報提供

- ✓ 意見交換の場の提供、B-DASH技術に関する情報提供等の結果共有 ⇒ 資料2


本会議での報告事項について #2

令和2年度第1回会議での委員からの主なご意見と検討結果


(技術ニーズ・技術的課題のヒアリング)

- ✓ まずは直面している問題や課題を考えてもらい、その後、技術面に誘導していく方が分かりやすいのではないかと考えている。
 まずは、技術的課題のみならず下水道事業上の課題についてヒアリングし、その後技術的課題についてヒアリングした。 ⇒ 資料3

(課題チェックシート)

- ✓ 技術導入の観点だけではなく、経営面から課題と技術を結び付ける診断を行い、技術で解決可能なものを選択し実際に導入していく、ということが必要であろう。
 下水道事業比較経営診断等の数値情報から課題を考えられる形式とし、その後、技術的解決策が表示される形式とした。 ⇒ 資料4

(ロードマップの見直し)・(ロードマップの重点課題の選定)

- ✓ ロードマップでは、どのくらいの需要があり、こういったレベルの技術がいつ頃までできるといい、という形で、個々の具体情報がはっきりしてくるとありがたい。
- ✓ 仮に達成済みがあったとしてもその項目を落とすことができず、「重点課題」が増えてしまう。困難な問題ではあるがロードマップに定量的な把握が多少なりとも必要ではないかと思う。
 引き続き検討。